



# 熊事研会報

## 第115号

熊本県学校事務研究協議会  
 発行人 会長 中村 光春  
 編集代表 事務局長 中村 勝美

### 目 次

1. 新旧会長挨拶	pp.1-2
2. 新旧事務局長挨拶	pp.2-3
3. 研究部だより	p.4
4. 理事会議事録	p.4
5. 役員紹介	p.5
6. 退任者より	pp.6-8

## 新旧会長挨拶



### 新会長 中村 光春 山都町立清和小学校 事務主幹

向暑の候、熊事研会員の皆様には、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、熊事研会長をすることになりました、山都町立清和小学校の  
 中村光春と申します。30数年前、私の事務職員生活は人吉・球磨から  
 始まりました。当時、熊本県学校事務研究協議会の設立・発展に人吉・  
 球磨の先輩方が深く関わっていたという話をいつも聞いていました。今  
 年度、熊事研40周年の記念すべき年に会長として関わることになり、

何か運命的なものを感じています。

さて、熊事研の会則の第3条（目的）は、1 学校教育の効果をあげるため学校事務の向上発展を  
 図る 2 会員の資質の向上につとめ、その社会的、経済的地位の向上を図る、となっています。これ  
 らの目的を達成するため、熊事研は初期の段階から長い間、職務内容の確立を中心的テーマとし事務  
 職員の資質向上につとめてきましたが、標準職務表の定着で一定の成果をみました。そして、これ  
 からの研究の方向性を考えると、第3条の1の「学校教育の効果をあげる」ために事務職員として何  
 が出来るのかがポイントになってくるのだらうと思います。学校現場を見てみると、教員は多忙化と  
 社会の変化に対応できずに疲弊しきっています。それでは、事務職員はどうでしょうか。私は、事務  
 職員の潜在的能力には大なるものがあり、それを学校運営にもっと生かす事が出来ると考えます。そ  
 のためには、事務職員も教育課程等の教育内容を理解していなければなりませんし、マネジメント能  
 力や学校と地域のコーディネーターとしての役割も求められます。

今年度は、熊事研の第40回記念大会の年であり、来年度は、第47回全国公立小中学校事務研究  
 大会を熊本で開催します。大会運営や研究発表等大変ですが、チャンスでもあると考えます。過去を  
 振り返った時に、事務職員にとってあの時がターニングポイントであったと言えるような、意味のある  
 2年間にしたいと考えています。全事研大会については、平成24年度に準備委員会を立ち上げてま  
 して、その後、実行委員会を設置し準備が着々と進んでいます。しかし、全事研大会成功のためには、  
 会員の皆様の一人一人の協力が必要となります。これまで熊事研の発展のために尽力された先輩方の  
 思いや願いを継承し、これからを担う人達のために夢を語る事が出来る学校事務のビジョンを示す  
 ために、それぞれの立場でのご協力をお願いいたします。

また、機構整備委員会の答申に基づき、総会の開催時期を含めた諸懸案事項について各地区での論議も必要となってくることもあるかと思えます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 前会長 藤川 英一 熊本市立砂取小学校 事務主幹

仲間に恵まれました。会長を退任するに当たり本当にそう思っています。不肖の身でありながら平成24年度から2年間、微力ではございましたが会長として熊事研の発展に力を注げたことは理事会を始め事務局・研究部の皆さまからのご協力の賜物に他なりません。

理事の方々からは理事会のたびに貴重なご意見、ご助言をいただきました。事務局・研究部の皆さんには県大会や各種会議での緻密な計画や準備、そしてその正確な運営には頭が下がる思いでした。なかでも事務局長や研究部長にはいろいろな面で無理な注文もしたかと思いますが期待どおりの活躍をしていただきました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

熊事研活動に携わったおかげで県内各地区の方々はもちろん、九州各県の多くの方々との出会いがあり、そしていろいろな会合等を通じて全国の方々とも知り合う機会を得て現在も公私にわたり交流が続いています。自分自身の世界がまた少し広がったように思います。このことは他の役員の皆さんも同じ思いを抱いておられることと思えます。

さて、会長就任1年目は平成27年度に本県で開催する第47回全国公立小中学校事務研究大会の成功に向けた基礎作りの年と位置づけ、大会の実行委員会設置に向けた取り組みをさせていただきました。この全国大会の熊本開催にあたっては前会長の宮本和明さんが、いろいろな問題に対して一つひとつ丁寧かつ慎重に進められていましたので、その後をスムーズに引き継ぐことができました。とても感謝しています。

就任2年目はかねて懸案でありました本会の機構整備に取り組みました。特別委員会として機構整備委員会を設置し、総会の開催時期を含めた県大会の持ち方等々について貴重な答申をいただきました。これからは理事会での協議、さらには各地区での論議をいただきながら進めていかなければなりません。新会長にバトンタッチします。中村光春新会長は現在の熊事研の基礎ともいべき機構整備に力を注がれた方です。必ずや今回の答申の趣旨に沿った熊事研の機構整備を進めていただけるものと確信しています。

この2年間、会員の皆さまとの情報の共有ということ念頭に置いて会報の発行から県大会の運営その他に取り組んできたつもりです。しかしながら、県大会にしましても全国大会にしましても、また機構整備の取り組みにつきましても、限られた一部の役員だけでできるものではありません。これからも会員の皆さまのご協力をお願いいたします。

最後になりましたが、会長在任中は会員の皆さまからはたくさんの励ましやご助言をいただきました。ここに心よりお礼申し上げます。退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

## 新旧事務局長挨拶

### 新事務局長 中村 勝美 宇城市立豊野小学校 事務主任

第1回理事会において事務局長に選出された中村と申します。勤務しております豊野小学校は、平成25年度から施設一体型小中一貫教育を実施しており、小学生と中学生が同じ敷地内で学んでいるため、義務教育9年間の子どもの成長する過程を見ることができます。

私は、平成6年に採用され21年目を迎えました。過去に平成21年度から平成23年度の3年間事務局員として熊事研の運営に携わらせていただき、その時初めて熊事研を支える活動をしている先輩方の存在を知ることができました。今回は自分が事務局長という役割を務めること



になり身の引き締まる思いで一杯です。先日、会長と熊事研大会の後援をしていただく熊本県教育委員会、熊本市教育委員会、熊本県小中学校長会、熊本県PTA連合会、日本教育公務員弘済会熊本支部に挨拶に伺いました。大会要項や研究集録には「後援」という欄に後援団体の名称が記載されています。今まで何気なく見ていた項目ですが、改めてその重みと熊事研が様々な関係機関との繋がりによって支えられていることを実感することができました。

さて、来年8月には熊本で全国学校事務研究大会が開催されます。事務局員をしていた頃、あと5年も先のことと実感無く思い描いていた大会があと1年あまりに迫ってきました。現在、実行委員会を中心に着々と準備が進められています。大会の成功には全国から多くの事務職員が集まることも大切ですが、それ以上に私たち熊本の学校事務職員がどれだけこの大会に参加できるかが重要だと考えています。年々多忙化している学校現場で学校を空けるのは大変なことです。後年熊本大会を振り返った時に転換点だったと思えるよう熊本の学校事務職員が参加し全国の学校事務職員と学びあい、交流を深められたらと思います。まずは今年10月に熊本市南区域南町火の君文化ホールで開催される熊事研40回記念大会でお会いしましょう。

最後に事務局では、全事研熊本大会後を見据えた機構整備に皆様と一緒に取り組めます。機構整備の内容については、理事会を通じ各地区研で協議をお願いすることになると思います。どうぞご協力よろしくお願いたします。

### 前事務局長 上田 千浩 熊本市立藤園中学校 事務主任

平成22年度から事務局長として熊事研活動に携わらせていただきました。

熊事研は研究団体ですので、まずは研究大会の計画・準備・運営が大きな業務としてあります。それまでは、お客さんのようにただ参加していましたが裏に入ると多くの方の力で研究大会が開催されていることがわかり、それまでの参加態度を振り返り大変申し訳なく思いました。今年度からは一会員として参加させていただくこととなりますが、学ぶ場を作っていただいたことに感謝し、明日は今日よりもさらに一步前進できるよう目的を持って研究大会に臨みたいと思っています。

また、私が事務局長を務めさせていただいたこの4年間は「全国公立小中学校事務研究大会熊本大会」開催に向けての様々な準備の期間だったように思います。

就任1年目に全国の地区で持ち回りしている「全国公立小中学校事務研究大会」を九州で開催していただけないかと全事研本部より話があり、九州各地区の事務研究会の代表者の方々と話し合うことから始まりました。熊本県としてはまず理事会にて協議いただきました。

その結果、1つ目は九州地区の実態として交通の利便性、会員数、研究大会開催の実績は九州の他県と比べて特に弱点といえるものはないこと。2つ目に、学校が大きく変革している今、熊本県で全国大会を開催することはこれからの学校事務職員にとって有用に作用すると思われること。3つ目に、全国の研究会を熊本県で開催することにより会員が等しく全国大会に参加することができること。この理事会の判断を当時の熊事研会長の宮本さんが、各地区に赴き会員の皆様に丁寧に説明をされました。その中で様々なご意見、ご心配の声もいただきましたが全国大会の開催地として立候補することが決まりました。その年の全事研評議員会の折、九州地区の代表者が集まり、開催県について協議を行い、各県が分科会を担当すること、参加者についても最大限の協力を行うことを確認し、熊本県において開催することが決まりました。

それを受け、就任2年目は全国大会開催に向けての準備を行うための会則の改正、細則の設置を行いました。3年目からは藤川前会長のもと、実行委員会設置のための準備委員会設置、実行委員長の決定、実行委員会の設置と全国大会開催に向け準備をすすめてまいりました。熊本県学校事務研究大会の開催と同時進行の4年間でしたが、各関係機関様との連絡調整、各地区理事や研究部・事務局の役員の方々との連携など、この役職をさせていただいたからこそ様々な貴重な経験を積ませていただくことができたと思っています。本当にお世話になりました。そして、ありがとうございました。

これからも熊事研の一会員として研究・実践を重ねてまいりたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

# 研究部だより



## 研究部長 内田 貴博 山都町立潤徳小学校 主任事務職員

研究部では、本年度の研究の方向性を、『第3期研究計画の総括を行い、今後のビジョン策定を推進する』としています。第3期は「教育課程の実施と学校事務」の観点から、カリキュラムマネジメントと一体となった教育条件整備の在り方や、それを通じた教職員の協働体制と学校組織の在り方、それらを支える学校財務の関連等について研究を行ってきましたが、今年度はその総括を行い、これからの熊本県の目指すべき学校事務職員像の中長期的なビジョンの策定に向けて研究を推進していきます。

ここ数年の間に、新たな任用制度の導入、学校事務センターの県内4地区での先行実施など、私たちを取り巻く環境は大きく変動し、数年先のことも予測できない状況になっています。

このような中、私たち学校事務職員が子どもの豊かな育ちと学校の円滑な運営を支援していくためにどのような役割を果たすべきか、あらためて考えていかなければなりません。「個人」が各々の力量を高めていくことはもちろん必要ですが、「共同実施」や「事務センター」の組織の力を発揮できるように取り組んでいくことも重要です。

研究部では、昨年度の県大会で「共同実施の現状と課題」について発表しました。今年度はそのことをふまえた上で、学校運営を支援する理想の「共同実施」について、県大会で提案します。「学校事務センター」については、先行導入地区に対しての状況調査を実施し、結果は会報等を通して会員の皆様に提供していきたいと考えています。

また、今年度の県大会は、分科会方式を一旦休止し、セミナー方式で行います。内容は、研究部発表、講演、シンポジウムの予定です。テーマを「地域と学校の未来を考える」とし、学校関係者を数名招き、それぞれの立場からの意見を出していただく中で、これからの学校像を創造していきたいと思えます。そして、その中で学校事務職員が果たすべき役割を考えるきっかけになればと考えています。

学校は今、変革の時期に来ています。学校教育や学校運営組織の在り方を見直す中で、学校事務の在り方も問われています。そのような変化に対応していく事務職員となるための具体的役割を明らかにしていく必要があります。そのために学校事務の中・長期的な全体構想を描き、学校事務・事務職員の将来構想、全体計画をつくらなければならないと考えています。研究部としては、今年度より熊本県学校事務のビジョン策定のための研究を進めていきます。

最後になりましたが、研究部12名で1歩ずつ前に進んでいきたいと思えます。会員の皆様ご協力をよろしくお願いいたします。

## 理事会議事録

先般、平成26年6月6日(金)に本年度第1回理事会が行われました。主な議事内容は以下のとおりです。

- I 平成25年度 事業報告および決算報告
- II 平成26年度 役員
- III 平成26年度 事業計画および予算
- IV 平成26年度 機関運営計画
- V 第40回大会基本計画(研究部所管)
- VI 第40回大会運営計画(事務局所管)
- VII 第47回全国公立小中学校事務研究大会(熊本大会)準備について
- VIII 懸案事項について

理事会議事録の詳細は熊事研HPをご覧ください。

熊事研

検索

# 役員紹介

本年度の熊事研役員を紹介します。

役 職	氏 名	所 属
会 長	中村 光春	山都町立清和小学校
副 会 長	森 安彦	山鹿市立鹿北中学校
副 会 長	池田 隆良	熊本市立白川中学校
理 事 (荒 玉)	久保田 洋子	玉名市立玉名町小学校
理 事 (山 鹿)	森 安彦	山鹿市立鹿北中学校
理 事 (菊 池)	池田 理恵	菊陽町立菊陽西小学校
理 事 (阿 蘇)	原田 富美子	南阿蘇村立白水中学校
理 事 (熊 本)	池田 隆良	熊本市立白川中学校
理 事 (上益城)	木元 英子	益城町立木山中学校
理 事 (宇 城)	局 美恵子	宇土市立住吉中学校
理 事 (八 代)	早田 ひとみ	八代市立八千把小学校
理 事 (人 球)	北里 良徳	球磨村立渡小学校
理 事 (水 葦)	松永 康宏	芦北町立田浦小学校
理 事 (天 草)	原田 文幸	天草市立河浦中学校
監 事 (熊 本)	西 瑞穂	熊本市立大江小学校
監 事 (天 草)	中野 順子	上天草市立姫戸中学校
事 務 局 長	中村 勝美	宇城市立豊野小学校
事 務 局 員 (総 務)	蒔平 三和	芦北町立佐敷中学校
事 務 局 員 (総 務)	鞭馬 かおる	上天草市立維和中学校
事 務 局 員 (事 業)	猿渡 明子	和水町立三加和小学校
事 務 局 員 (事 業)	藤井 優子	南関町立南関中学校
事 務 局 員 (会 計)	田中 晴美	熊本市立山東小学校
事 務 局 員 (会 計)	中井 由香	熊本市立白坪小学校
事 務 局 員 (情報調査部)	田中 元陽	山鹿市立米野岳小学校
事 務 局 員 (情報調査部)	内門 綾子	宇土市立網田小学校
研 究 部 長	内田 貴博	山都町立潤徳小学校
研 究 部 員 (研究班長)	中山 やよい	熊本市立慶徳小学校
研 究 部 員 (研 究 班)	平野 哲也	宇城市立三角中学校
研 究 部 員 (研 究 班)	水野 薫	山鹿市立鶴城中学校
研 究 部 員 (研 究 班)	今脇 里美	津奈木町立津奈木小学校
研 究 部 員 (研 究 班)	笠間 美香	玉名市立清里小学校
研 究 部 員 (情報調査班長)	田村 亮二	錦町立一武小学校
研 究 部 員 (情報調査班)	佐藤 祐樹	天草市立亀川小学校
研 究 部 員 (情報調査班)	岩木 和美	菊池市立旭志中学校
研 究 部 員 (情報調査班)	吉山 典子	御船町立木倉小学校
研 究 部 員 (情報調査班)	大山 聡	産山村立産山小学校
研 究 部 員 (情報調査班)	後藤 義一	八代市立千丁中学校

## 前年度事務局員 北村 博之 熊本市立麻生田小学校 事務主任

①今思えば、あっという間の3年間でした。以前1年間だけ研究部員を経験しましたが、漠然と目先のことだけをこなしていたように感じます。事務局のお姉様方に怒られた記憶だけが鮮明に残っています。事務局は女性が多いので男性は最初戸惑うかもしれませんが、業務に関しては歴代の先輩方が積み上げてきたマニュアルのおかげで、途方に暮れることはありませんでした。今はメールなど情報交換ツールが充実しているので、全県的な活動もスムーズになったと思います。県内のみならず毎年9月に熊本市で開催される九州地区役員研修会では、企画・準備から当日の懇親会まで県外の方とも多くの出会いがあり、今後の大きな糧となりました。

②事務局員は裏方のイメージが強いですが、熊事研全体を俯瞰できる非常にやりがいのある仕事です。任期は長い？ですが、ぜひ男性の皆さんの加入を期待しています。私はしばらく何度目かのダイエットを頑張ります。

## 前年度事務局員 岩下 紀子 熊本市立城西小学校 主任事務職員

①最初の頃は私なんかには務まるのかと遠く長い任期に目標途中育休交代！？の口癖も戯言のまま、3年間あっという間に過ぎました。毎月の会議ではいろんな地区・世代の先生方にお会いでき、刺激や元気（+上田事務局長お手製美味しいお菓子♥）をいただけたので楽しみでした。通常校務と平行しての事務局業務は、ときに詰め込みすぎて、逆に頭が真っ白に！！なんてこともありました。熊事研役員の皆さんに助けていただきながら貴重な経験をさせていただいたと思っています。3年間本当にお世話になりました。

②ようやく熊事研役員も卒業！！・・・と書いていたのですが、引き続き全事研熊本大会実行委員会のほうにお世話になっています(笑)。また新しい先生方と一緒に活動させていただけるのが楽しみです。プライベートでは・・・大好きなソフトバンクホークスの応援！！にまだ行けていませんので、隙を見つけてヤフオクドームに通いたいなあと思っています！！

## 前年度事務局員 轟 佳織 熊本県立天草工業高等学校 事務職員

①平成25年度熊事研事務局の会計を務めさせていただきました、轟です。昨年の4月に初めて事務局会に出席した時は分からない言葉が飛び交い、何も分からずに焦ったことを思い出します。しかし、会長をはじめとする熊事研役員の方々や他県の方々といった多くの人との出会いを通じ、様々なことを教わることができた実りの多い1年となりました。また、毎年参加していた県大会も今回は運営の立場で携わり、改めて熊事研会員の皆さんの手で作りあげられているものであると実感しました。

②今年度より天草工業高校へ赴任となりました。熊事研役員を1年で終えてしまうのはとても残念ですが、義務制とはまた異なる県立学校の事務職員として自分自身を高めていけたらと思っています。来年度はいよいよ全国大会。熊事研会員の皆さんの力によって素晴らしい大会となりますよう、願っています。

## 前年度事務局員 北里 良徳 球磨村立渡小学校 事務主任

①事務局に7年間お世話になりました、北里です。ホームページ管理が研究部から事務局へ移管された平成19年に、事務局に新設された情報調査班員として入りました。当時そして現在も研究部にいらっしゃる、福永高嗣さんからホームページを引き継ぎ、以来7年間居ました。その間何をやっていたのか。年々地味になるホームページ・・・

今回、ホームページ管理の任務から離れたことで、気分は楽になっています。ホームページは、組織の外玄関です。気になっていた、「地味感」を吹き払ってもらいたいものです。

②さて私はというと、今後は一会員として、本業お役御免になるまで、熊事研を応援していきたいと思っています。今年度は地区理事になりました。次年度の全国公立小中学校事務研究大会の開催には、数百人の現地スタッフが必要とか。私にとって50代最大かつ最後のお祭りとなる全国大会です。実行委員・スタッフの力を合わせ、全国大会を成功させましょう。

## 前年度研究部員 筒井 迪子 教育庁学校人事課給与支給係 主事

①平成25年度熊本県学校事務研究協議会研究部員として1年間活動させていただきました。力不足で大変ご迷惑をおかけしましたが、1年間いろんなことを学ぶことができました。「共同実施」について、様々な視点や県下の状況を知り、また共同実施が果たすことができる可能性について皆様の意見を聞きながら、実際にはどのように進めていけるのだろうかと考えさせられました。まだまだ知識も経験も足りないのですが、共同実施の形が変わっていくことで仕事の仕方や取り組み方等も変わってくるのではないかと思います。今後は事務センター化も進められていくようで、今以上に様々な変化があると思いますが、色々な情報をいただきながらできることに努めたいと思います。

②今年度は自転車通勤を始めましたので、十分な運動をして健康的な1年間にしたいと思います。

## 前年度研究部員 松田 真理子 菊陽町立菊陽南小学校 事務主任

①2年間、県の研究部をさせて頂き、大変お世話になりました。この2年間、事務職員の仕事を研究したり、県大会のサポートをさせて頂いたり、とても充実した時を過ごさせて頂きました。研究部長をはじめ、研究部員の皆さんと、自分の考えを出したり、他の部員の考えを聞いたりしながら、テーマや課題について話し合い、研究を深めることができました。こんなに自分の仕事のことを考えたことはない位、考えたと思います。年度末に事務室を整理した際には、研究部で作成したり参考にした資料が、段ボール箱一杯になっていました。

昨年度は共同実施のレポート作成に取り組みました。レポート発表や県大会でのサポートの部分で、ひとりひとりがしっかり自分の役割を果たすことができました。「研究」というと、とても難しいことをするような感じを受けますが、研究するためには実践が必要ですし、研究の先にも実践があります。つまり、実践を積み重ねていくことが、研究するということだと感じました。研究部では和気藹々とした雰囲気の中で、いい実践につながる有意義な時間が過ごせたような気がします。私は県北にいますので、県南の方々となかなか知り合う機会がなかったのですが、研究部でたくさんの仲間ができたように思います。同じ思いの仲間が県内にいると思うと、とても心強い気がします。

研究部を経験したことで、県大会のサポートの部分の仕事も知り、研究活動をした2年間で自分の仕事としっかり向き合い、意識や考え方も前向きに変わっていったことが私の財産となりました。また、研究部員として地区研と県事務研をつなぐことが重要で、地区研の活性化が県事研の活性化につながるということを実感したところです。

②これからは一会員として、地区研をより活性化させて県事研の活性化へつながるように、協力していきたいと思っています。2年間、大変お世話になりました。ありがとうございました。旧研究部の皆さん、またお会いしましょうね！

## 前年度研究部員 佐藤 紘史 高森町立高森東中学校 事務職員

①2年間研究部員をさせていただきました。私としましては、研究部員として熊事研の進むべき方向を示すような研究を推し進めるのに、効果的な役割を担うことはできませんでした。しかしながら、熊事研における先達の取り組みや経緯を知り、県内各地の研究部員と話し合い研究をすることは大変勉強になりました。自身の学校において今後取り組むべきこと、取り組みたいこと、取り組み方や意識など、多くの示唆を得ることができました。

## 前年度研究部員 杉本 泰成 八代市立第一中学校 事務主任

①2年間、平木前研究部長・内田研究部長のご指導のもとで研究部員として研究部の活動を行ってきました。それまでは研究と聞くと、堅い・面倒くさい・・・といったイメージがあり自分にできるか不安でした。しかし研究部会では図らずとも研究部員になったのだから、しゃべらなきゃ損、しゃべったもの勝ちという雰囲気の中、毎回活発な論議が行われており、その中で研究することの大切さと必要性を学ぶことができました。改めて自分の仕事を考えることができ「学校事務」という仕事の「面白さ」と「難しさ」を感じた2年間でした。

②マンネリ仕事をする時代は終わっています。今までやってきた仕事に満足せず、緊張感を持って仕事をしていきたいと思っています。

前年度研究部員 松本 優喜 上天草市立中南小学校 事務職員

① 2年間研究部員としてたいへんお世話になりました。この2年を振り返ると1年目は研究部の諸先輩方についていくのがやっとで必死に話を聞いて活動していたことを思い出します。2年目は主に学校事務必携の編集と研究責任者として県大会分科会の運営をさせていただきました。初めてのことでご迷惑をおかけすることもありましたが、何とかやり遂げることができ、本当に素晴らしい経験となりました。

また、平木前研究部長、内田研究部長をはじめ魅力ある研究部の先生方と知り合うことができ、研究部会の温かい雰囲気の中でたくさん刺激をいただきました。ありがとうございました。

② 研究部員という貴重な経験を生かし、「子どもたちのために」をテーマに前向きな気持ちで日々努めていきたいと思えます。

趣味のフットサルも楽しく頑張ります!!

□編集後記□

今後とも会員の皆様へ向けてより良い情報発信につとめてまいりますので、ご意見・ご感想等ございましたら各地区の役員までお願いいたします。

熊事研事務局（情報調査部）

熊事研新HP <http://ws.higo.ed.jp/jimuken/>

熊事研

検索

熊事研HPはCMSへ移行します。（URLが変わります）  
ブックマークへの追加、相互リンク等よろしくお願いたします。

全事研熊本大会HP <http://ws.higo.ed.jp/kenjimuken/>

全国公立小中学校事務研究大会熊本大会

検索

第47回全事研大会（熊本大会）のHPを開設いたしました。  
ブックマークへの追加、相互リンク等よろしくお願いたします。